

例えば、お風呂が自動的に沸いて「お風呂が沸きました」とアナウンスが流れることに對して「ありがと」と言う人はいませんし、カーナビが音声で道案内をしてくれるこ

とに對して、目的地に着いて「ありがと」と言う人もいないでしょう。他にも機械があなたも人のように、時には人よりも素早く優れた機能で人の代わりにしてくれらることもたくさんあります。そして多くの人は機械がしてくれたことに對して、「おつかれさま」と労をねぎらったり、「ありがと」と感謝をすることは少ないでしょう。

「ああ、今は誰とも話したくないな」「ちょっと一人で過したいな」それが実現できるかどうかは別としても、誰でもそう感じることはあると思います。人と付き合ったり、誰かと一緒にいるのは嫌という訳ではないのですが、人と付き合うからこそ疲れることは誰にでもあることです。

なぜ人と付き合うことは疲れることなのか、あまり考えたことはないかもしれませんが、実は私たちの身近な生活の中で溢れている便利な機械製品の影響もあるのかもしれない。

疲れることもあるけど…



一方的なものといえます。しかし人が働いたり、動いたりすることは、それが自分自身のためであつても疲れるものだし、さらにそれが人のためだったり、人と一緒に何かをやることであれば、お互いを思いやりながらの作業でもあるため、とても疲れることなのです。機械を相手にしなければ疲れることはないかもしれません。でもそれに慣れ過ぎてしまうと、気がつかないうちに、私たちの大事な「手を労う」「感謝をする」「思いやる」といった人間らしい心の動きが鈍感になってしまふこともあり得るのです。

人々が機械を使うという関係は、人が機械を使うという

一方的なものといえます。しかし人が働いたり、動いたりすることは、それが自分自身のためであつても疲れるものだし、さらにそれが人のためだったり、人と一緒に何かをやることであれば、お互いを思いやりながらの作業でもあるため、とても疲れることなのです。機械を相手にしなければ疲れることはないかもしれません。でもそれに慣れ過ぎてしまうと、気がつかないうちに、私たちの大事な「手を労う」「感謝をする」「思いやる」といった人間らしい心の動きが鈍感になってしまふこともあり得るのです。

人々が機械を使うという関係は、人が機械を使うという

一方的なものといえます。しかし人が働いたり、動いたりすることは、それが自分自身のためであつても疲れるものだし、さらにそれが人のためだったり、人と一緒に何かをやることであれば、お互いを思いやりながらの作業でもあるため、とても疲れることなのです。機械を相手にしなければ疲れることはないかもしれません。でもそれに慣れ過ぎてしまうと、気がつかないうちに、私たちの大事な「手を労う」「感謝をする」「思いやる」といった人間らしい心の動きが鈍感になってしまふこともあり得るのです。

一方的なものといえます。しかし人が働いたり、動いたりすることは、それが自分自身のためであつても疲れるものだし、さらにそれが人のためだったり、人と一緒に何かをやることであれば、お互いを思いやりながらの作業でもあるため、とても疲れることなのです。機械を相手にしなければ疲れることはないかもしれません。でもそれに慣れ過ぎてしまうと、気がつかないうちに、私たちの大事な「手を労う」「感謝をする」「思いやる」といった人間らしい心の動きが鈍感になってしまふこともあり得るのです。

一方的なものといえます。しかし人が働いたり、動いたりすることは、それが自分自身のためであつても疲れるものだし、さらにそれが人のためだったり、人と一緒に何かをやることであれば、お互いを思いやりながらの作業でもあるため、とても疲れることなのです。機械を相手にしなければ疲れることはないかもしれません。でもそれに慣れ過ぎてしまうと、気がつかないうちに、私たちの大事な「手を労う」「感謝をする」「思いやる」といった人間らしい心の動きが鈍感になってしまふこともあり得るのです。

一方的なものといえます。しかし人が働いたり、動いたりすることは、それが自分自身のためであつても疲れるものだし、さらにそれが人のためだったり、人と一緒に何かをやることであれば、お互いを思いやりながらの作業でもあるため、とても疲れることなのです。機械を相手にしなければ疲れることはないかもしれません。でもそれに慣れ過ぎてしまうと、気がつかないうちに、私たちの大事な「手を労う」「感謝をする」「思いやる」といった人間らしい心の動きが鈍感になってしまふこともあり得るのです。

図書館コーナー

◆中軽井沢図書館 イベントのご案内

◎文化講座
「作家の日常」
出演 作家 藤田宣永 氏
とき 8月20日(土)
13時30分から
*定員80名まで

◎青木館長朗読会
「怪談」 小池真理子 著
とき 8月13日(土)
14時から

◎おはなしツリーによる
夏休みスペシャル
テーマ「山のおはなし」
とき 8月7日(日)
10時30分から

小学生のためのおはなしの会
とき 8月3日(水)
10時30分から

ちいさなおともたちのおはなしの会
とき 8月8日(月)
10時30分から

☆当日、保健師による乳幼児相談も行います。
◎図書館夏まつり(友の会)
とき 8月11日(木・祝)
講演会「森に、います」
出演 桐原冬夜 氏
13時から

新しい本が入りました!

帰郷	浅田次郎 著
BB/PP	松浦寿輝 著
アウシュビッツの図書係	アントニオ・G・イトゥルベ 著
笑って付き合う認知症	榎本陸郎 著
ピカゴロウ	ひろただいさく・ひろたみどり 作

※図書館のホームページで蔵書検索ができますので利用してください。
<http://www.library-karuzawa.jp/>

ラルト演奏会
横山由布子 氏
15時から

図書館の利用にあたっては公共交通機関の利用をお願いします。
【申し込み・問い合わせ】
中軽井沢図書館
TEL 41-0850
FAX 41-0851